

付録資料 「あなたならどうするか」についての自由記述(記入例全体)

日本の回答

「Dさんが自分から話してくれるまで待つ」  
「何か悩みがあるならいつでも聞くよ、気負いすぎないでね、ためこみすぎないでね、と気持ち少しも軽くなるような声かけをする。」  
「共通の友人に何か知っているか聞いてみてから、Dさんに悩み事を話してもらおうか考える。」  
「他の話をして打ち解けた空気できく。」  
「いつも通りに接することを心がけ、Dさんに変化があれば、そっと声を掛ける」  
「何回か日を変えて聞いてみる」  
「親友なんだから助ける」  
「Dさんが自分以外の誰かに相談できているかどうかを周りの人に聞く。」  
「リラックスできる場所に2人で行って何気ない会話をしつつ、悩み事を引き出そうとする。」  
「Dさんが話したくなかったときに話せるように対応する。」  
「話してくれるまで待つ」  
「Dさんが話をしてくれるまで待つ。いつもと変わらずそばにいる。何かあったら、いつでもきくよ、と声をかける。」  
「あまり突っ込まずに、さらっと『最近元気くない？もしよければ話聞くからいつでも言ってね。』と言う。Dさんの友人に何か知っていることはないかと尋ねる。」  
「全く関係なく、ドライブに誘ったりして同じ時 を過ごしてあげる。何も聞かない。何気ない日常の会話の中で、何か助けてあげられたらと思う。気分転換に付き合いたい。」  
「言ってくれるまで待つ何も言わなかったらそっとしておく」  
「2人だけになったり電話などして『本当に話したくないことは言わなくていい』と言い、話してくれるのを待つ。」  
「自分以外に悩みを話せる相手がいるだろうから無理にきこうとしない」  
「Dさんに、話せるよゆうがあったら、いつでも話してねという。」  
「親友ならきいてくるだろう。きいてこないならいいたくないのだと考える。だからほうっておく。」  
「そっとしておく」  
「先生にもそのことを伝える」  
「自分で力になれることがあるなら言って」  
「自分以外の誰かに話してないか他の友人に聞いてみる」  
「『話したくなったら話してね。』と言う」  
「もう一度聞いてみて、それでも話してくれない場合は、そっとしておく」  
「同じようにそっとしておくが、違う話(話題から)探っていくようにする。」  
「Dさんに悩みを話したくなったら自分呼んでほしいと伝える。」  
「詳しくは聞かないけど、そばにいる。」  
「Dさんが悩んでいることを相談したいと話して来たらたくさん相談をうける。それまで待つ」  
「自分の悩みを話す」  
「気持ちが落ち着き、言ってくれるのを待つ。」  
「メールなどで聞いてみる」  
「話してくれるのを待つか、話しやすいように場所、時間等を考える」  
「悩みを言ってくれるまで待つ」  
「話してくれるまで待つ」  
「女性なので、それが原因でもめる」

## 中国の回答

「自分で解決を試み、できなければ人に助けを求める」  
「私自身の問題だから、人に言わない方がよい」  
「Cと自分の悩みを分かち合う」  
「大体は尋ねられる。もし相手が答えなければ、無理には聞かない。」  
「自分の問題は自分で解決し、いやな気持ちを他の人に移してはならない。」  
「彼女の注意を他に向け、気持ちが晴れることを多くやり、Dの理由については話に出さず、彼女を尊重する。」  
「自分で事情についてよく考えてから、友達に言う。」  
「もしCが私の信頼できる親友なら、私は彼女に私のことを話せる。」  
「Cに対してなんで機嫌が悪いのかを話す」  
「悩み事をなんでも親友に話すのではない。このことはとりあえず親友に話したくはないのだから、何日かして納得したら、親友に話す。」  
「適当な状況で、Cに話す。」  
「私がDなら、必ずCに事情を聞く。（注：回答者がDとCを勘違いしたと思われる）」  
「書いたものでCとコミュニケーションし、もし差支えなければ自分が気分が悪い原因を詳しく書き、もし本当に言いたくなければ自分が言いたくない理由を相手に伝える。」  
「適当な機会を見つけ、悩みをCに話して聞いてもらう。」  
「もしCが私の悩みを分かち合ってくれるのなら、私はCに話す」  
「今はそれ以上細かく聞かず、次の機会にまた話してみる」  
「自分のことは自分で解決するように努力する。思いを語って助けてもらう必要があるれば、その時Cのところに行く」  
「私は悩み事をCに話し、Cに私がどうすべきかを尋ねられる。」  
「もしCが私に聞いたら、私は彼女に言う。私は人に自分の思いを訴えるのを好む。」  
「いい友達のCが何度も聞くのなら、適切な時を探して、適切なやり方でCに言う。」  
「適切な機会に悩みをCに伝える。」  
「差支えがないか考えて、言うでしょう。もしプライバシーにかかわることなら言わないという選択もある。でもCに自分には心配事があるということは伝え、しばらくすれば良くなることもあるし、Cに心配をかけないようにし、その後適当な時にCに話をしてもよい。」